

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110008	XXX1110008			国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
		2	前期	情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	1年
哲学	阿部 ふく子			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	基礎	選択	1年

授業目的

哲学の基本的な主題と思考方法をいくつか取り上げて講義します。講義内容は主題別の構成をとりますが、哲学史的な背景についても適宜説明を補いながら進めたいと思います。哲学の営みとは——自然、知、信仰、幸福、道徳、科学、心身、自我、経験、生、等々——人間が生きてゆくなかで直面するさまざまな普遍的事柄について、〈自分自身で〉きめ細かく考えてみることにほかなりません。ただしこの営みは独りよがりなものであってはならず、二千数百年にも及ぶ哲学の歴史のなかですでに営まれてきたさまざまな思考の足跡をたどり、これらの知的遺産と対峙してみるなかではじめて私たちは自ら考える力を養うことができるにもなります。この講義では、〈自分自身で考えること〉・〈哲学者の思考を吟味すること〉という二つのアプローチを通じて、論理的・批判的思考力を養うとともに洞察力や解釈力を鍛え、個別性と普遍性とに豊かに開かれた精神を形成してゆくことをめざします。

各回毎の授業内容

第1回

【授】哲学的問いの射程
【前・後】配布資料

第2回

【授】哲学と常識はどう違うのか①——ソクラテスの〈無知の知〉
【前・後】教科書16-19頁、配布資料

第3回

【授】哲学と常識はどう違うのか②——プラトンの〈洞窟の比喩〉
【前・後】教科書20-23頁、配布資料

第4回

【授】哲学と常識はどう違うのか③——ヘーゲルの弁証法
【前・後】教科書110-115頁、配布資料

第5回

【授】幸福・善とは何か①——アリストテレスの生
【前・後】教科書24-29頁、配布資料

第6回

【授】幸福・善とは何か②——功利主義
【前・後】教科書118-119頁、配布資料

第7回

【授】幸福・善とは何か③——カントの義務論理学
【前・後】教科書102-103頁、配布資料

第8回

【授】何かを認識するとはどういうことか①：デカルトの方法的懷疑論
【前・後】教科書64-71頁、配布資料

第9回

【授】何かを認識するとはどういうことか②：ロック、バークリー、ヒュームの経験論
【前・後】教科書78-83, 88-90頁、配布資料

第10回

【授】認識するとはどういうことか③：カントの超越論的哲学
【前・後】教科書96-101頁、配布資料

第11回

【授】私とは何か①——フィヒテの自我論
【前・後】教科書106-107頁、配布資料

第12回

【授】私とは何か②——実存哲学
【前・後】教科書120-121頁、配布資料

第13回

【授】私とは何か③——フロイトの欲望論
【前・後】教科書130-133頁、配布資料

第14回

【授】価値とは何か——ニーチェ
【前・後】教科書126-129頁、配布資料

第15回

【授】まとめ
【前・後】配布資料

第16回

【授】試験
【前・後】講義にて指示

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							30
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

毎回課されるコメントペーパー(30%)、および記述式の期末試験(70%)による。

コメントペーパーは各回の講義内容に関連する簡単な質問に答えてもらう方式です。提出回数ではなく内容で評価します。

教科書参考書

貫 成人『図説・標準 哲学史』、新書館、2008年(1,575円)

(※講義はPower Pointのレジュメに即して進めますが、哲学史全体が概観でき、予習・復習にも役立つ資料として上記のテキストも適宜参照しますので、購入のうえ授業に臨んでください。)

受講に当たっての留意事項

- 上記テキスト等を用いて毎回予習のうえ授業に臨むこと。
- 毎回の講義で配布した資料にはすべて目を通すこと。
- 講義時に紹介する原典や参考文献等にも積極的に手を伸ばし、自主的に学習を進めることができること。

学習到達目標

- 哲学の基本的な用語、主要な問い合わせ、議論を理解し説明することができる。
- 上記の理解を、個人的・日常的な所感や出来事にも柔軟に適用し、自ら哲学的な問い合わせを立て、見解を述べることができる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習